

もう一度、君に生きてほしたい。

人とロボットの奇跡の恋を描く
劇場中編アニメーション

【監督】 牧原亮太郎 【脚本】 木皿泉 【キャラクター原案】 咲坂伊緒

【アニメーションキャラクター】 北田勝彦 大島ミチル

【制作】 WIT STUDIO

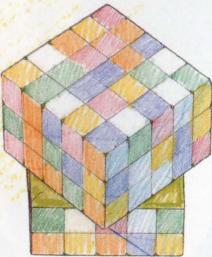
HP hal-anime.com Twitter @halanime

©2013 ハル製作委員会

【キービジュアルアーティスト】 清川あさみ

2013年6月8日(土)ロードショー

NOT FOR SALE



「ハル」とは…?



近未来の京都で生まれた、 人とロボットの奇跡のラブストーリー

『アオハライド』『ストロボ・エッジ』で別冊マーガレット(集英社)にて

年代問わず女子の絶大な支持を得る、漫画家・咲坂伊緒が描いた、ハルとくるみ。

温かくも愛らしい2人のキャラクターが、2013年6月、アニメーションとして動き出します。

脚本は、『すいか』や『Q10』など、さわやかでありながらも深い人間像を描く、木皿泉。

『四叠半神話体系』『ギルティクラウン』で各話絵コンテ、演出を務め、

圧倒的なクオリティの映像を作り上げた牧原亮太郎を監督に迎え、

プロダクション LGから2012年6月に独立した、WIT STUDIOが作り出す、

初の劇場中編アニメーション作品です。

本作の世界観を表現するキービジュアルのアートディレクターには、
写真に刺繡を施すという独特な手法を用いるアーティスト・清川あさみが参加しています。

事故で最愛のハルを失ったくるみとハルのかわりとなるロボハル。

ロボットと人が心通わす奇跡を描いた、号泣必至の近未来ラブストーリーです。

ストーリー

「くるみに、生きていることを思い出させるために、 ボクは人間になった」

ハルとくるみの幸せな日常。

いつまでも続くと思っていた日々は、飛行機事故で突如終わりをつけた。

けんか別れのまま、最愛のハルを失い、生きる力も失ってしまったくるみ。

彼女の笑顔をとりもどすため、

ヒト型ロボットのQ01<キューチ>は、ハルそっくりのロボハルとしてくるみと暮らすことに。

ロボハルの頼りは、かつくるみが願い事を書いた、ルービックキューブ。

色がそろごとに溢れてくる、くるみの想い。

少しずつ打ち解けるロボハルとくるみだったが…。

